

穂田原集落を周回する側溝改良に関することについて

要 旨

穂田原集落を周回する側溝は昭和40年代に施工されたものであり、アームの破損・柵溝板の脱落等もみられ老朽化が顕著であること、また水路底は未舗装でありへドロ状の堆積物が厚く堆積し悪臭の原因となっていることから、早期の改良工事の施工を求める。

理 由

現在の側溝（柵溝）は昭和40年代に施工されたものであり、老朽化が顕著となっており、随所においてアームの破損・柵溝板の脱落等がみられ水路としての機能を失いつつある状況であります。

現状の水路構造は、3面舗装の水路ではなく柵溝という特殊な構造であり水路底は未舗装のままであります。平成11年に払田地区農業集落排水事業により下水道が完備されるまで生活雑排水等が放流されており、水路底にはへドロ状の堆積物が厚く堆積しており、悪臭の原因ともなっており周辺住民は対応に苦慮しているところであります。

側溝沿線の方はもとより、穂田原自治会全員の署名を添付して本件の早期工事着工をよろしく申し上げます。

平成23年10月25日

陳 情 者 大仙市高梨字穂田原143

陳情者代表 山 田 隆 正

他13名

大仙市議会議長 鎌 田 正 様